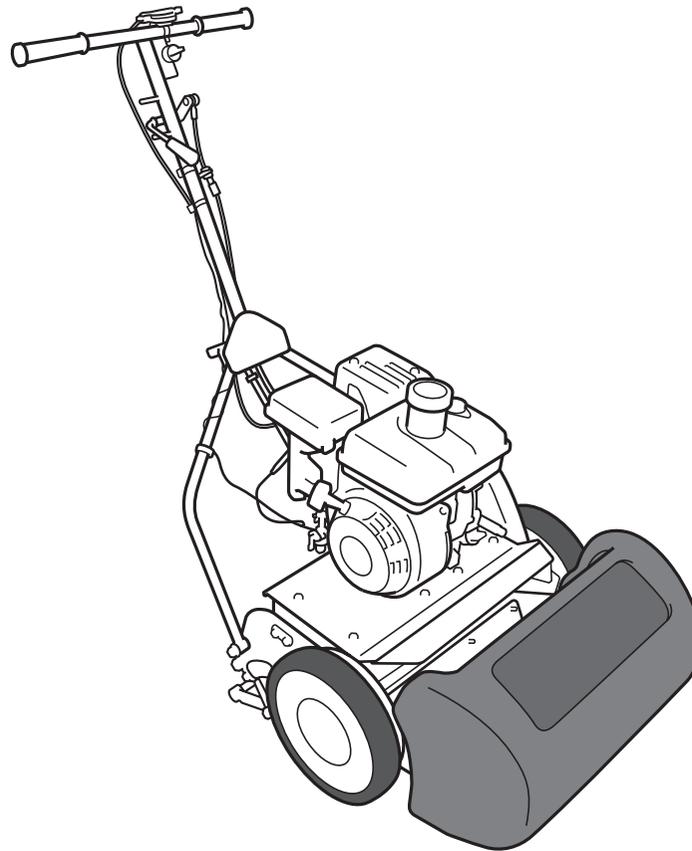


# 小型ローンガーデンモア **LM41A** バロネス芝刈機

## 取扱説明書 & パーツカタログ



“必読” 機械のご使用前に必ず本書およびエンジンの  
取扱説明書をお読みください。

**BARONESS**<sup>®</sup>

# 目 次

目 次	1	5-5. ベルトカバー	9
安全に関する警告について	2	5-6.  V ベルトのテンション調整	10
ごあいさつ	2	5-7. 刈高調整	10
ラベル貼付位置	3	5-8.  メンテナンス時の機械姿勢について	10
各部の名称	4	5-9.  刃のかみ合わせ調整	11
仕 様	5	5-10.   バックラッピング	11
取扱説明	5	5-11. リールカッターの再研磨（オーバーホール）	12
1. 本機の組立	5	5-12.  グラスキャッチャーの取り付け、取り外し	12
1-1.  ハンドルの取り付け	5	5-13. 長期保管について	12
1-2. クラッチワイヤーの接続	6	6.    エンジン取り扱い上の注意事項	13
1-3. スロットルワイヤーの取り付け	6	7.  メンテナンススケジュール	14
1-4. 芝抑え板の取り付け	7	8. 使用上の注意事項	14
2. 使用前点検	7	8-1.  使用上の注意事項	14
2-1. オイル量の点検	7	8-2.  高温部注意	14
2-2. エアクリーナーの点検	7	8-3. 工具について	14
3. 各部の締め付け	7	9.  安全作業について	14
3-1. ボルト・ナットの増し締め	7	9-1.  安全のための衣服について	15
4. エンジン始動運転順序	8	9-2.  こんなときは運転しない	15
4-1.  エンジン始動について	8	9-3.  機械の改造禁止	15
4-2. エンジン始動運転方法	8	9-4.  マフラー・エンジン回りのゴミは取り除く	15
4-3.  エンジン停止方法	8	9-5.  機械を他人に貸すとき	15
4-4.  燃料給油	8	9-6.  夜間走行・作業の禁止	15
4-5.  機械を離れるときの注意	8	9-7.  その他の注意事項	15
5. 機械の操作について	9	10. 長期保管について	15
5-1.  各部の作動	9	10-1.  長期保管について	15
5-2. スロットルレバーの調整	9	パーツカタログ	16
5-3.  クラッチレバーの操作	9	LM41A	17
5-4. ハンドルの高さ調整	9		

## 安全に関する警告について

本機には、正しく安全な操作を行っていただくために▲印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。

警告表示ラベルは安全上、特に重要な項目を示していますので、警告を必ず守り、安全な操作を行ってください。

### 警告表示について

- 危険** …その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。
- 警告** …その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。
- 注意** …その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのある、または物的損害の発生が予測されるものを示しています。



取扱説明書参照



危険マーク  
(手の巻き込み)



燃料マーク  
(ガソリン)



危険マーク  
(足の巻き込み)



注意マーク  
(Vベルト等回転部)



危険マーク  
(飛散物)



危険マーク  
(火気厳禁)



注意マーク  
(はさまれ注意)



警告マーク  
(排気ガスに注意)



警告マーク  
(安全のための衣服)



注意マーク  
(高温部)



注意マーク  
(グリース)

## ごあいさつ

このたびは、パロネス芝刈機・ローンガーデンモアLM41A型を、お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は、正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。

正しくお使い頂くためご使用前に、この取扱説明書および別冊のエンジン取扱説明書を必ずお読み頂き、本機の性能を十分ご理解された上で、安全にそして効果的にご愛用くださるようお願い申し上げます。

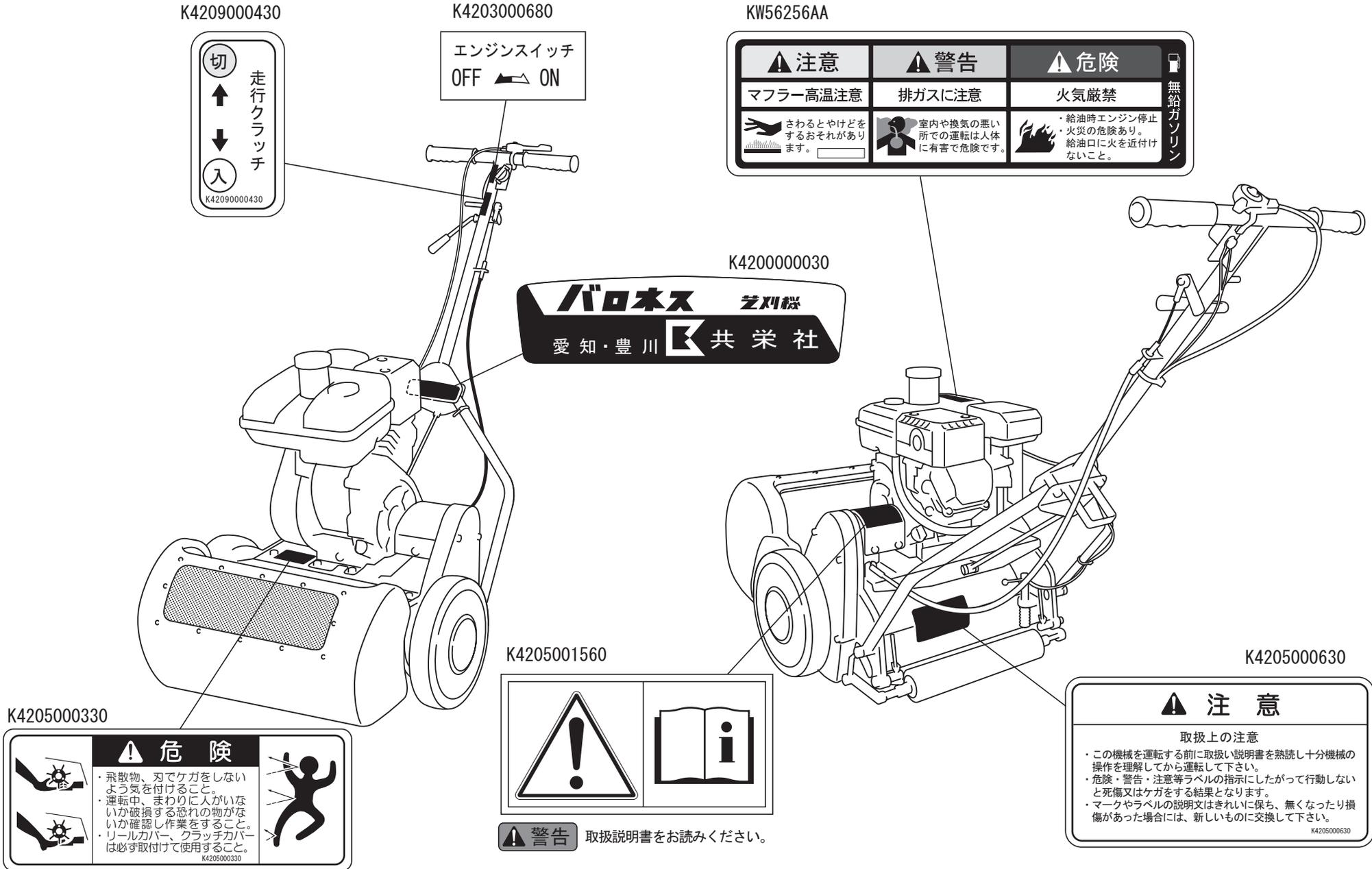
また、ご使用中の不審な点や故障等については、お近くの販売店にお問い合わせください。その際には、機械の型式と製造番号を併せてお知らせください。

なお、工場出荷時には十分な試運転、検査を重ねた上で出荷をしておりますが、機械が本来の性能を発揮するためには、取り扱い方法や作業前後の点検・調整・給油等の日常の管理が大きく影響します。いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

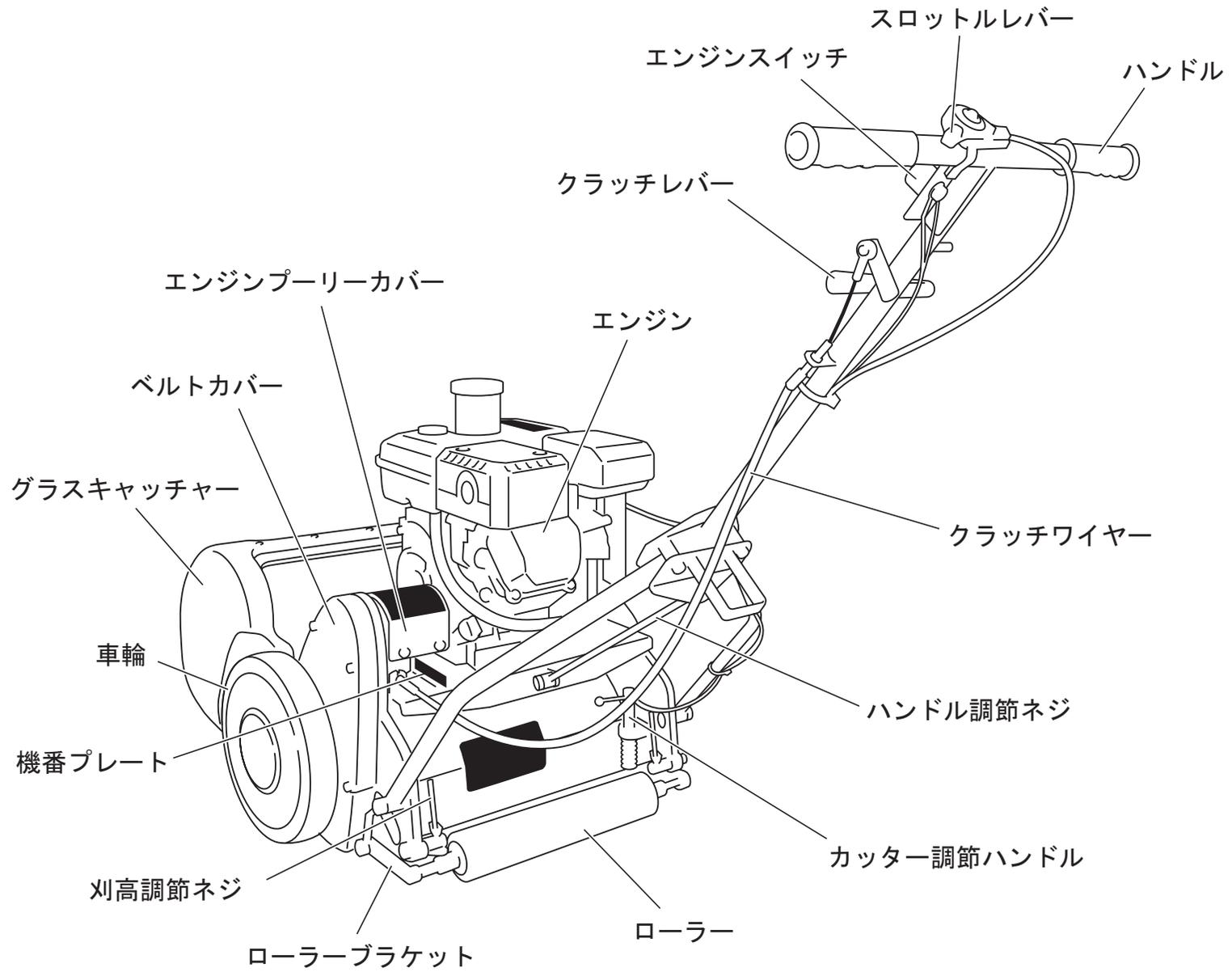
### ご注意

- 本機は、型式が順次変わっている場合があります。  
本機に関するお問い合わせの際は、必ず型式・製造番号を併せてご通知くださいますようお願いいたします。
- なお、本書記載事項は、予告無しに変更する場合があります。
- 注意** …運転について
- この取扱説明書に記載されているマークおよび機械に貼られている警告表示ラベルは、安全確保のための説明が書かれています。操作手順や安全注意事項を注意してお読みいただき、十分ご理解の上この機械を運転してください。
- ラベルはきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、すぐに新しいものと交換してください。
- 本機に貼られているラベルは絶対にはがさないでください。

# ラベル貼付位置



# 各部の名称



## 仕様

型式	LM41A
機体寸法	全長 120cm、全幅 57cm、全高 85cm、
総質量	46.7kg (グラスキャッチャー付)
エンジン	三菱 GB101LN 0.098L (98cm <sup>3</sup> )
	最大出力 2.2kW (3.0ps) / 1,500rpm
	燃料タンク容量 1.6dm <sup>3</sup> (L)
	エンジンオイル量 0.4dm <sup>3</sup> (L)
	使用プラグ BP2HS エンジン回転速度 750 ~ 1,700rpm
刈幅	39cm
刈高	0.6 ~ 3cm
速さ	3.7km / h (エンジン回転速度 1,500rpm 時)
能率 (刈幅 × 速さ × 0.8)	1,154m <sup>2</sup> (11.5a) / h (エンジン回転速度 1,500rpm 時)
フレーム	アルミ 合金
リールカッター (回転刃)	直径 14cm、刈幅 39cm、刃数 6 枚
ベッドナイフ (受刃)	長さ 39cm、幅 6.2cm、厚み 0.4cm
車輪	直径 25cm、幅 4.5cm
ローラー	直径 6cm、長さ 31cm、鉄パイプ製
クラッチ	ベルトテンションクラッチ

※出荷時のエンジン最高回転数は 1,700rpm です。

## 取扱説明

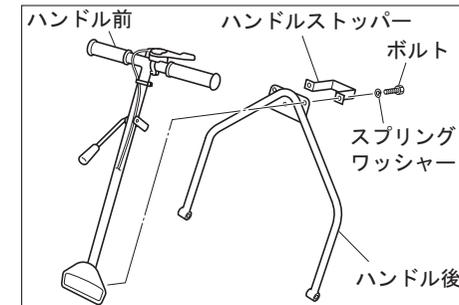
### 1. 本機の組立

#### 1-1 ハンドルの取り付け

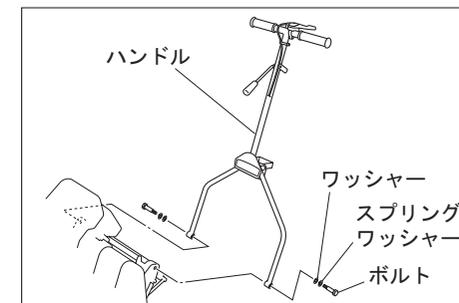
1. ハンドル前、ハンドル後、ハンドルストッパーを付属のボルト、スプリングワッシャーを使用して組み立ててください。

#### ▲注意

- ・ハンドルストッパーを取り付けされていない場合、メンテナンス時にエンジンスイッチを破損することがありますので、必ずハンドルストッパーの取り付けを行ってください。



2. 組み立てたハンドルを付属のボルト、スプリングワッシャー、ワッシャーを使用してフレームに取り付けてください。



3. ハンドル調整ネジの上端を付属のナット、スプリングワッシャー、ワッシャーを使用してハンドルに取り付けます。(図 A)
4. ハンドル調整ネジの下端を付属のハンドル固定ピン、ナット、スプリングワッシャーを使用してエンジンベースに取り付けてください。(図 B)

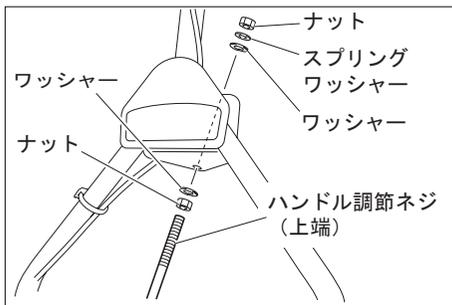


図 A

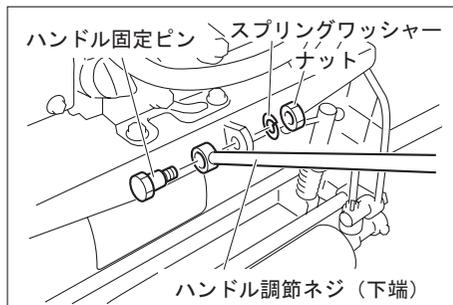


図 B

**注意**

〈エンジンスイッチコードの接続について〉

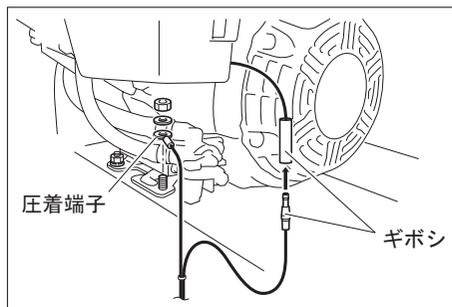
- ・ ハンドルの組み付け時に、エンジンスイッチコードの接続を行ってください。接続部はギボシと圧着端子部分の2か所です。エンジンスイッチコードを接続しないと、エンジンが停止しませんので必ず接続してください。

1. ギボシ

ハンドルからのギボシは、エンジン右側から出ているギボシと接続してください。

2. 圧着端子

圧着端子は、エンジンを締め付けている右側後部のナットを緩め、圧着端子を差し込んでナットを締め付けてください。

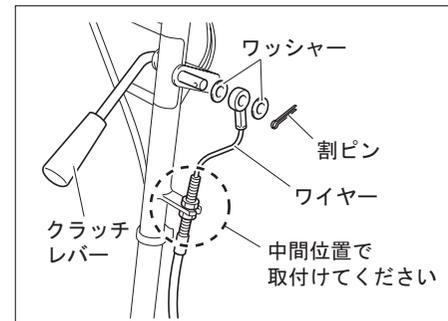


1-2 クラッチワイヤーの接続

1. 本機から出ているクラッチワイヤーを、ハンドル側ワイヤー取り付け部分に取り付けます。ワイヤー取り付けの目安として、ネジ部中間位に取り付けます。
2. ワイヤーの穴の開いた先端部分をクラッチレバーに取り付けます。
3. 付属のワッシャー、割ピンで取り付けてください。

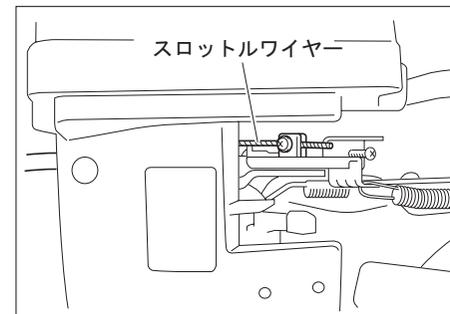
※ ワイヤー取り付け位置はあくまでも目安です。

✓ ベルトの張りを調整しながらワイヤーを固定してください。



1-3 スロットルワイヤーの取り付け

スロットルワイヤーの先端をエンジンのスロットル部に取り付けてください。



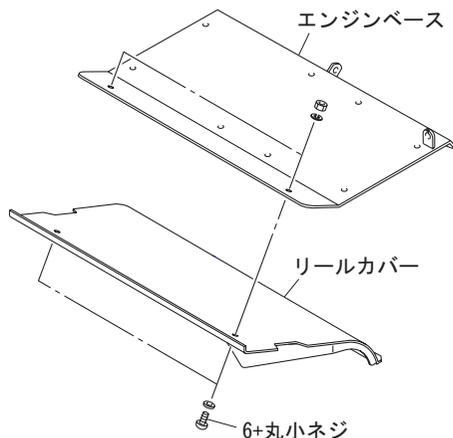
## 1-4 芝抑え板の取り付け

### ⚠ 危険

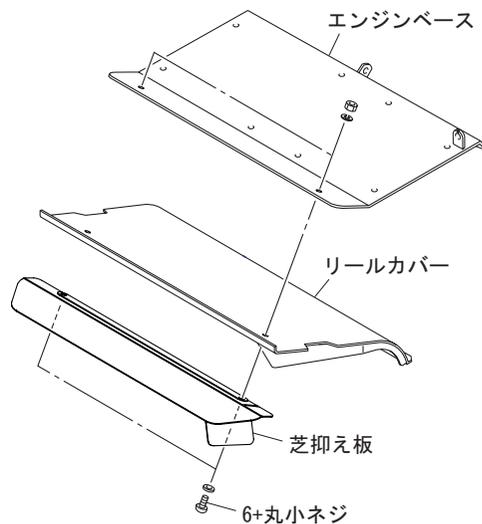
芝抑え板の取り付けを行うときは、必ずエンジンを停止して行ってください。

芝抑え板を取り付けると、刈込時の芝の吹き上がりが軽減され集草効率が向上します。

1. リールカバーを固定している2本のねじを外してください。



2. 芝抑え板とリールカバーを一緒に固定してください。



## 2. 使用前点検

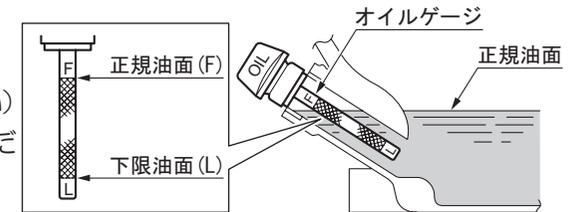
### 2-1 オイル量の点検

- ・ エンジンオイルは定量入っているか、エンジン水平状態でチェックしてください。
- ・ 減った量は追加してください。
- ・ オイル交換は初回 8 時間、次回より 50 時間毎に全量交換してください。
- ・ オイルは SAE30 番 (API 分類 SF 級以上) を使用してください。

#### [オイル点検]

毎日点検してください。

(ゲージをねじ込まずに点検してください)  
正規油面までオイルを補充してください。



### 2-2 エアクリーナーの点検

- ・ カバーを外し、エレメントを点検してください。
- ・ エレメントの汚れがひどいときおよびオイル分がなくて乾いているときは、白灯油で洗浄後、エンジンオイルに浸し、片手で固く絞ってください。
- ・ 点検後はカバーを確実に組み付けてください。

## 3. 各部の締め付け

### 3-1 ボルト・ナットの増し締め

各部には、ボルト止めが多く使われており、初めのうちは使用しますとボルト・ナット等に緩みが出る場合がありますので、必ず増し締めを行ってください。

適正締め付けトルク N・m (kgf・cm)

呼び径	一般ボルト 強度区分4.8	調質ボルト 強度区分10.9
M6	7~9 (71.38~91.77)	14~18 (142.76~183.55)
M8	14~19 (142.76~193.74)	28~38 (285.52~387.49)
M10	29~38 (295.71~387.49)	58~76 (591.43~774.97)

## 4. エンジン始動運転順序

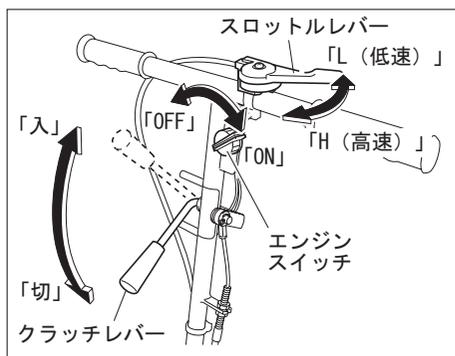
### 4-1 エンジン始動について



- ・適切な換気装置のない建物内ではエンジンは始動しないでください。
- ・機械の周囲に人や障害物がないか、安全を確認してください。
- ・カバー等の防護部品、防護装置が正しく取り付けられているか、損傷していないか確認してください。

### 4-2 エンジン始動運転方法

1. クラッチレバーを「切」の位置にします。
2. スロットルレバーを「H」(高速)  にします。
3. エンジンスイッチを「ON」します。
4. 燃料コックを開きます。
5. チョークレバーを引いてリコイルスターターを引けば始動します。
6. チョークレバーを戻します。(4.5.6. はエンジン取扱説明書参照 )



### 4-3 エンジン停止方法

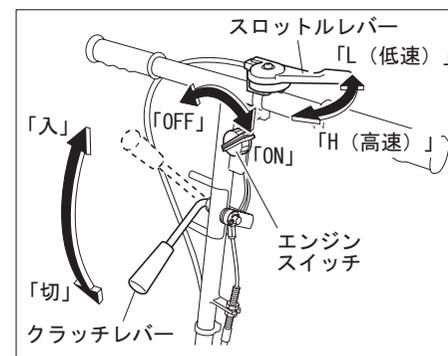
#### 〔通常停止〕

1. クラッチレバーを「切」の位置にします。
2. スロットルレバーを「L」(低速)  にします。
3. エンジンスイッチを「OFF」にします。
4. 燃料コックを閉じます。(エンジン取扱説明書参照 )

#### 〔緊急停止〕

#### ▲注意

- ・緊急時のエンジン停止方法を知っておいてください。
- ・緊急時は直ちにエンジンスイッチを「OFF」にします。



### 4-4 燃料給油

#### ▲危険

- ・燃料給油時は火気厳禁です。すべての裸火とタバコを消してください。
- ・給油は屋外でエンジンを停止し、エンジンを冷やしてから行ってください。
- ・機械は常にきれいに保ち、ゴミ、埃の堆積、グリース・オイルの付着がないようにしてください。
- ・こぼれた燃料はきれいにふき取ってください。

### 4-5 機械を離れるときの注意

#### ▲注意

- ・エンジンスイッチは「OFF」の位置にあることを確かめてください。
- ・機械を駐車する場合は水平な所に駐車し、傾斜地での駐車は絶対にしないでください。

## 5. 機械の操作について

### 5-1 各部の作動

#### ⚠ 危険

- ・ 機械を操作する前に各部の作動が良好であること、特にブレーキ、クラッチ等は完全であるか確かめてください。
- ・ どのような場合にも緊急停止が出来るようにしてください。
- ・ あなた自身および周囲の人がケガをしないようにしてください。

### 5-2 スロットルレバーの調整

ハンドルの左側にあり、エンジン回転の高低をレバーで調整します。  
回転速度は750～1,700rpmです。作業は1,500rpm程度で行ってください。

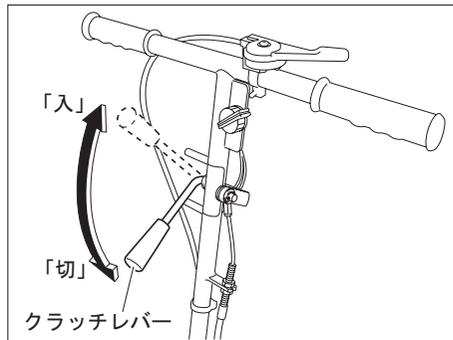
### 5-3 クラッチレバーの操作

クラッチレバーはハンドルの手前右側にあり、前に倒す（「切」）と停止します。  
手前に引く（「入」）と前進し、同時にリールカッターも回転します。  
急な操作に注意し、ゆっくり操作してください。

#### ⚠ 警告

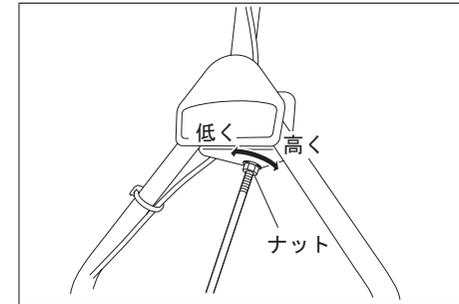


- ・ 周りに注意して芝生内の石・針金等は前もって拾ってください。



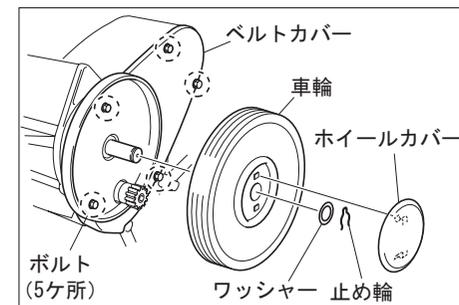
### 5-4 ハンドルの高さ調整

ハンドルは、ハンドル調整ネジ上部のナットを回して上下させることにより、使用する人の身長に合わせて高さを調整することができます。  
高さが決まりましたらナットをロックしてください。



### 5-5 ベルトカバー

マイナスドライバー等を使用し、左側車輪のホイールカバーを外します。  
車軸の先端にはめてある止め輪を外してワッシャー、車輪を取り外します。  
ベルトカバーのボルト（5か所）を緩めて外すとベルトカバーを取り外すことができます。



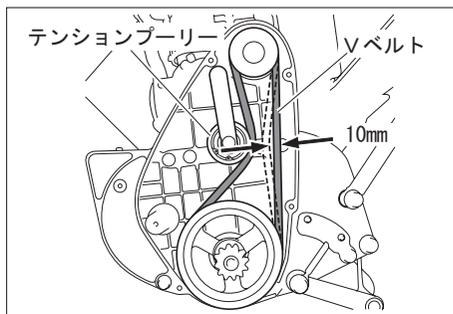
## 5-6 Vベルトのテンション調整



- 調整を行うときは必ずエンジンを停止して行ってください。

Vベルトの調整は、左側車輪のホイールカバーを外し、車輪等を取り外してからベルトカバーを取り外して行います。(5-5 ベルトカバー参照)

クラッチ「入」の状態にしてVベルトを張り、Vベルトの下部を指で押さえて10mm程度の動く余裕があるかどうか、Vベルトに割れ・傷等ないか点検してください。



張りすぎていたり、緩みが大きい場合はVベルトの張りを調整してください。

調整方法は、クラッチワイヤーのハンドル側、および本機側のネジ部分で調整します。ワイヤーを固定しているナットを緩めてVベルトの張りを調整します。

(1-2 クラッチワイヤーの接続参照)

Vベルトの張りの強さは、あまり強くなりすぎますとクラッチレバーを戻しても止まらなくなることがあります。クラッチレバーを戻したとき、ベルトがスリップしないですぐに止まるように調整してください。

Vベルトを交換する際は、LA30 オレンジベルトを使用してください。

調整、交換後は各ボルトをしっかりと締め付けてください。

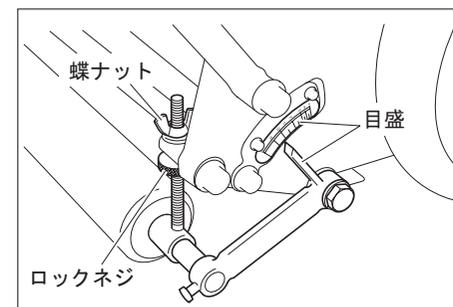
## 5-7 刈高調整

刈り込み高さの調整は、左右の蝶ナットを緩めて刈高調整ロックネジを回して上下させることにより、調整することが出来ます。

刈高プレートが目盛に合わせ、好みの高さにセット出来ましたら蝶ナットをしっかりと締め付けてください。

調整範囲は0.6cm～3cmまでの間で自由に調整出来ます。

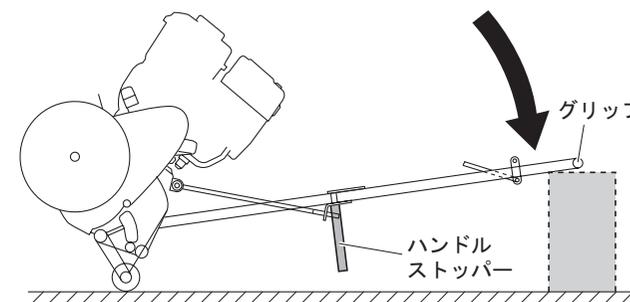
刈り込み高さは、必ず左右同じ目盛に合わせてください。



## 5-8 メンテナンス時の機械姿勢について

本機(エンジンGB101LN搭載機)のメンテナンスを行う際、ハンドル側に倒した角度が大きくなると、エンジンのロッカーカバー内にエンジンオイルが浸入し、マフラーから白煙が出るなどのエンジン不調が発生します。

エンジン不調を防ぐためにハンドル調整が中間位置より高い場合はハンドルストッパーが地面に接地する前に、ハンドルのグリップ部分に物を置き調整してください。



- 上記の機械姿勢に関しましては、地面が水平な状態を前提としております。
- ハンドル側に倒した姿勢の角度が大きい場合とは、エンジンが直立状態から35°以上倒れた状態のことです。

## 5-9 刃のかみ合わせ調整

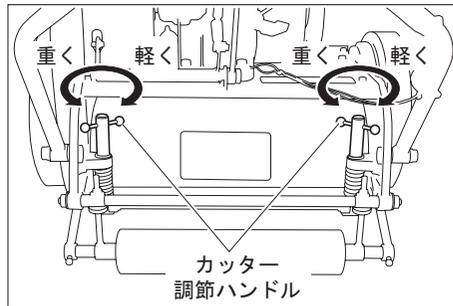


- 調整を行うときは、必ずエンジンを停止して行ってください。

リールカッター（回転刃）とベッドナイフ（受刃）が、切れなくなった場合は、カッター調整ハンドルを左に少し回してください。左右が同じように軽く接触するように調整します。

リールカッターが重くて回らない場合は、カッター調整ハンドルを右に少し回してください。

軽く接触させても新聞紙の切れが悪い場合は、早目にバックラッピングをしてください。（5-10 バックラッピング参照）



## 5-10 バックラッピング

バックラッピングはリールカッターの研ぎ直しをするまでの中間仕上げです。リールカッターを逆回転させながら研磨剤を塗ることにより、リールカッターとベッドナイフをすり合わせて研磨します。

### 1) 準備する物

- ラッピングハンドル（またはラッピングマシン RM20B 型 別売り）
- 研磨剤・・・ラッピングパウダー（# 100～200）1 に対してマシン油 3～4 の混合物またはジェルコンパウンド（パロネス純正）
- その他・・・ブラシ、新聞紙、布切れ、工具、スチーム等

### 2) 刃のチェック

芝刈り作業後リールカッターの全幅にわたり、新聞紙がよく切れる部分と切れない部分を調べます。

### 3) ラッピングハンドルの接続

- マイナスドライバー等を使用し、左側車輪のホイールカバーを外します。（図 A）
- 車軸の先端にはめてある止め輪を外してワッシャー、車輪を取り外します。（図 A）
- リール軸にラッピングハンドルをねじ込みます。（図 B）
- 研磨後は、リールカッターを固定し（木ハンマーの柄等、刃を傷めないものを差し込む）、ラッピングハンドルを取り外します。

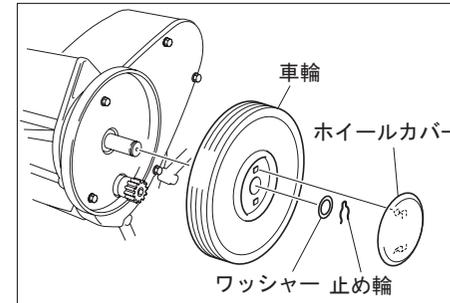


図 A

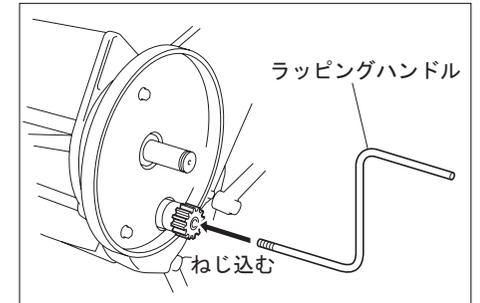


図 B

### 4) 研磨剤の塗布

- リールカッターを芝刈り時とは逆の方向に回転（右回転）させ、ブラシで研磨剤を新聞紙がよく切れた部分だけに塗ります。
- 切れない部分は、刃が減っているので研磨剤を塗らないでください。

- ◆リールカッターの右側（機械を前側より見て）は左側より 3～4 倍早く磨耗します。研磨剤をリールカッターに塗る際は、必ずブラシを左から右へ動かしてください。

### 5) 刃の再チェック

しばらく回転させて、接触音がしなくなったら回転を止め、再度リールカッターの全幅にわたり新聞紙がよく切れる部分と切れない部分を調べます。

### 6) バックラッピング

「4）、5）」を繰り返し行い、リールカッターとベッドナイフが全面にむらなくかみ合う（接触する）ようになってから、最後にリールカッター全面に研磨剤を塗り、仕上げのバックラッピングをします。

### 7) 研磨剤の処理

バックラッピング後はスチーム洗浄機や水道水等で、研磨剤をきれいに洗い落としてください。

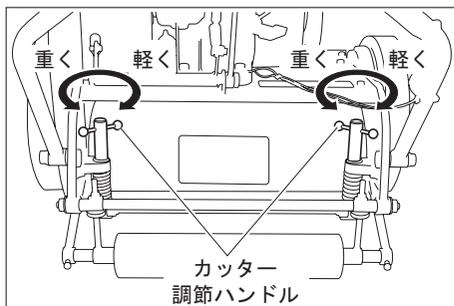


- 洗浄するときはエアクリーナー、電装品、スイッチ類に水がかからないように注意してください。水がかかると思わぬ故障の原因となります。

## 8) 刃のかみ合わせ調整

リールカッターとベッドナイフを、左右均等に軽くかみ合わせます。

1. カッター調整ハンドルを右へ回すと、かみ合いは軽くなり、左へ回すとかみ合いは重くなります。
2. 左右ともに軽く接触させ新聞紙がよく切れるようにします。



### ▲ 注意

- ・ かみ合わせを強く接触させて使用した場合、リールカッター、ベッドナイフに異常磨耗を発生させる原因となります。

## 9) バックラッピング時の注意

### ▲ 危険

- ・ リールカッターとベッドナイフは共に刃物です。取り扱いには十分注意してください。新聞紙を試し切りするときは、リールカッターを回す指先に十分注意してください。バックラッピングを行うときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。

## 5-11 リールカッターの再研磨（オーバーホール）

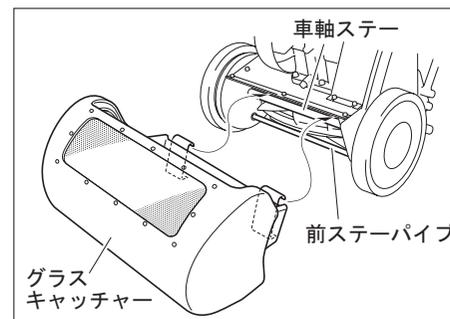
リールカッターが磨耗して円錐形になった場合は円筒研磨し円筒形に戻します。（円筒研磨はお買い求めの販売店にお申し付けください。）

## 5-12 グラスキャッチャーの取り付け、取り外し

### ▲ 警告

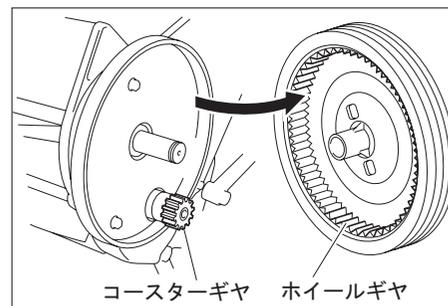


- ・ グラスキャッチャーの取り付け、取り外しは、機械を停止した状態で行ってください。取り付け方法は、グラスキャッチャーの口元上側のフックを車軸ステーに掛け、下側のフックを前ステープイブに当てて取り付けます。取り外し方法は、下側のフックを前ステープイブから離してから、上側のフックを取り外してください。

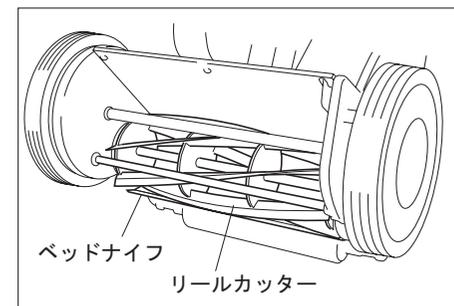


## 5-13 長期保管について

1. ホイールギヤとコースターギヤの歯をきれいに掃除し、グリースを塗ってください。（図A）
2. リールカッターおよびベッドナイフの刃部をきれいに洗い、よく乾燥させてから刃先にグリースを塗ってください。錆止めになります。（図B）



図A



図B

3. エンジンの燃料タンク、気化器から燃料を抜き取ってください。
4. クラッチレバーの支点部分に注油を行ってください。錆止めになります。
5. 乾燥した埃の無い場所に保管してください。

## 6. エンジン取り扱い上の注意事項



- ・ エンジンについてはエンジン取扱説明書を読んでください。

### 1) 燃料



- ・ エンジンの燃料は自動車用ガソリンを使用してください。

### 2) オイル交換

- ・ 本機は振動、埃等使用条件が過酷なためにエンジンオイルの交換は初回 8 時間で全量交換し、その後は 50 時間毎に全量交換してください。  
エンジンオイル量 = 0.4L で SAE30 番 (API 分類 SF 級以上) のオイルを使用してください。

### 3) エアクリーター

- ・ エアクリーターエレメントの点検は使用前には必ず行い 200 時間毎には新品と交換してください。

### 4) 燃料給油



- ・ 燃料給油時は火気厳禁です。すべての裸火とタバコを消してください。
- ・ 給油は屋外でエンジンを停止し、エンジンを冷やしてから行ってください。
- ・ 機械は常にきれいに保ち、ゴミ、埃の堆積、グリース・オイルの付着がないようにしてください。
- ・ こぼれた燃料はきれいにふき取ってください。

### 5) エンジン始動



- ・ 適切な換気装置のない建物内ではエンジンは始動しないでください。
- ・ 機械の周囲に人や障害物がないか、安全を確認してください。
- ・ カバー等の防護部品、防護装置が正しく取り付けられているか、損傷していないか確認してください。

### 6) マフラー



- ・ マフラーおよびマフラー排気口付近は高温になります。ガソリン、マッチ等燃えやすいものを近づけないように注意してください。

### 7) 作業前点検



- ・ 燃料パイプ等の取り付け部が緩んだり損傷していないか確かめてください。  
各部のボルト・ナット等の緩みはないか確かめてください。

### 8) 運転時の服装



- ・ 運転するときの服装にご注意ください。前かけ、腰タオル等特に長いヒモ類は巻き込まれたり引っ掛けたりする危険があります。

### 9) 長期保管

- ・ 長期間使用しないときはガソリンを抜いてください。  
燃料タンクを空にし、火元から十分離してください。

## 7. メンテナンススケジュール

### 〈メンテナンスの注意〉



- ・実施するメンテナンスを熟知してください。
- ・メンテナンスは乾燥したきれいで平坦な場所で実施してください。
- ・エンジンは必ず停止し、それを確認してから作業を行ってください。
- ・機械が作動中は、給油やメンテナンスをしないでください。
- ・駆動・作動部分には手足を近づけないでください。
- ・全部品は、良い状態で正しく取り付けてください。
- ・損傷部品は直ちに修理、交換してください。
- ・磨耗損傷部品は交換してください。
- ・機械の改造はしないでください。整備上の必要部品は、安全確保のため純正部品を使用してください。
- ・ゴミやグリース、オイルの付着は取り除いてください。
- ・機体を持ち上げて作業を行う場合は、確実に固定できるよう、必ず適切な支えを設けてください。

	メンテナンス作業	使用前	8 時間	50 時間毎	200 時間毎
エンジン	各部の清掃・締め付け点検	○			
	燃料の点検給油	○			
	エアクリーナー点検清掃	○			
	エアクリーナーエレメント交換				○
	エンジンオイル点検補給	○			
	エンジンオイル交換		初回のみ	○	
本体	点火プラグ清掃			○	
	各部の清掃・締め付け点検	○			
	刃のかみ合い点検調整	○			
	刈り込み高さ点検調整	○			
	軸摺動部への注油			○	

## 8. 使用上の注意事項

### 8-1 使用上の注意事項



- ・作業中、回転部分は危険ですので、回転部分の中へ手、足はもちろん何も入れたり触れたりしないでください。
- ・石等の障害物は、リールカッター、ベッドナイフの損傷、飛散物の事故等の原因になるので取り除いてから使用してください。
- ・防護カバー、ベルトカバーは、使用者の危険を防止するものです。破損の場合は交換し、所定の位置に必ず付けてください。
- ・機械の使用前後には必ず点検・整備をしてください。
- ・機械を運転する前に警告表示ラベルや取扱説明書を熟読し、機械操作を十分理解してから運転してください。

### 8-2 高温部注意



- ・運転中および運転停止直後にカバーやマフラーにふれないでください。やけどをする危険があります。

### 8-3 工具について

- ・工具は、ハンドル組み付け、初期調整時に使用するもののみ付属しています。その他のメンテナンス等に必要な工具は、目的にあったものを使用し、ケガのないように作業してください。

## 9. 安全作業について



芝刈機は、リールカッター（鋭利な刃物）を回転させる機械で、使用する場所、障害物、芝生の条件等いろいろありますから、使用者は機械の点検・整備の徹底をはかり、機械操作の熟練に努め、自己の安全を図ると共に、他人に危害を及ぼさないように、正しく機械を使って安全第一に作業されることをメーカーとして強く要望します。

## 9-1 安全のための衣服について

### 警告

- 安全のため、機械に巻き込まれないきちんとした衣服、作業に適した保護具・メガネ・靴・ヘルメット・手袋等を着用してください。前かけ、腰タオル等、特に長いヒモ類は、巻き込まれたり、引っ掛かったりする恐れがあり危険です。



## 9-2 こんなときは運転しない

### 警告



- 疲れているときは機械を使用しないでください。もし、機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し休息してください。
- 病気の人、酒を飲んでいる人、薬物の影響のある人は機械を使用しないでください。視覚や敏しょう性、判断力に影響を及ぼします。
- 機械操作に不慣れな場合は、取り扱い方法や安全注意事項をよく理解してから機械を使用してください。また、子供には使わせないでください。

## 9-3 機械の改造禁止

### 注意

- 機械の改造はしないでください。部品および油脂類の交換をするときは、安全確保のために当社が指定するものを使用してください。機械の改造や当社指定以外の部品などを取り付けて運転すると、機械の故障や人的・物的事故を招くことがあります。

## 9-4 マフラー・エンジン回りのゴミは取り除く

### 警告



- エンジン冷却風取入口、エアクリーナー空気取入口、マフラー、エキゾーストパイプ部に刈り取った草などの異物がたまりますと、エンジン不調、オーバーヒートなど火災の原因になりますので、すみやかに作業を中断し、過熱部が十分に冷めるのを待ってから取り除いてください。

## 9-5 機械を他人に貸すとき

### 注意



- 機械を他人に貸すときは、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取り扱い要領が分からないため、思わぬ事故を起こすことがあります。取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前によく読むように指導してください。

## 9-6 夜間走行・作業の禁止

### 警告

- 本機は照明装置を備えていませんので、夜間や視界の悪いときは走行・作業をしないでください。

## 9-7 その他の注意事項

### 注意

### 運搬時のロープ掛けについて

- エンジンには、ロープ掛けをしないこと。  
燃料タンク口金部分やエアクリーナー等にロープ掛けを行いますとエンジン破損の原因となります。
- ロープ掛けは、ワイヤー類の巻き込みが無いようにすること。  
ワイヤーを巻き込んでロープ掛けしますとワイヤー破損の原因となります。

# 10. 長期保管について

## 10-1 長期保管について

### 注意



- エンジンについてはエンジンの取扱説明書をご覧ください。
- 本機をきれいに清掃し、各摺動部に注油してください。
- 雨のかからない乾燥した場所にカバー等をかけて保管してください。

# バロネス芝刈機

## 小型ローンガーデンモア **LM41A**

### パーツカタログ

☆本機お問い合わせについて

型式が順次変更になっている場合がありますので、機械の型式と製造番号をあわせてご通知くださるようお願いいたします。

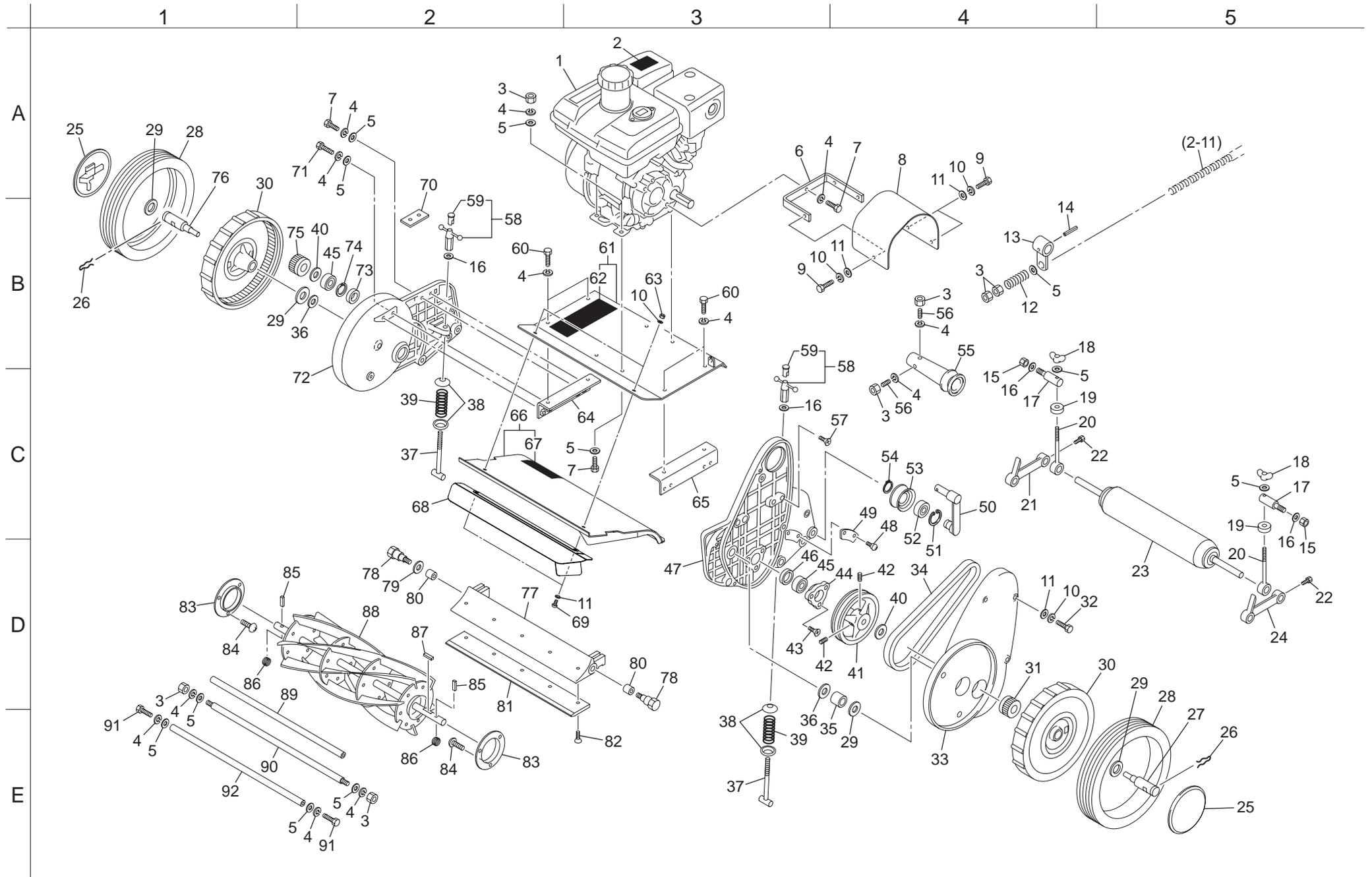
なお、本書記載事項は予告なしに変更することがあります。

☆部品注文について

本パーツ表の部品は電算機にて管理しておりますが、誤送の原因ともなりますので、部品注文の際は必ずカタログ番号、コード番号、部品名称でご注文ください。

(例) カタログ番号	コード番号	部品名称	数量
1	K2600000470	三菱GB101LN-430	1

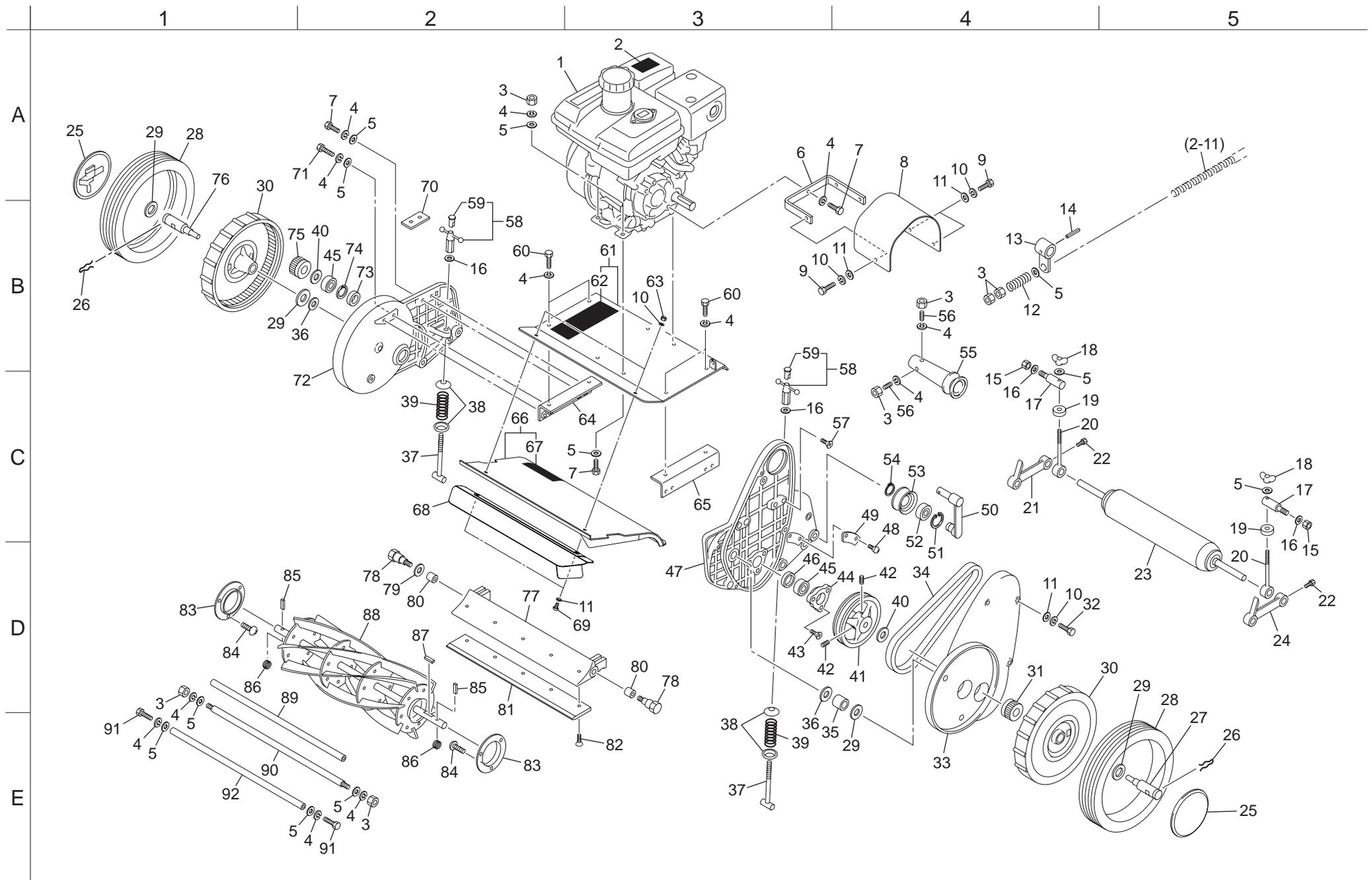
1. モア部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
1	K2600000470	三菱 GB101LN-430	1	
2	K4205001560	取扱説明書熟読ラベル	1	
3	K0100080002	8 ナット	10	
4	K0200080002	8S ワッシャー	19	
5	K5000080002	8 ワッシャー	19	
6	LM41---0110Z2	カバー取付金	1	
7	K0000080202	8 ボルト 20	4	
8	LM41---0109ZR	エンジンプーリーカバー	1	
9	K0000060152	6 ボルト 15	4	
10	K0200060002	6S ワッシャー	7	
11	K5000060002	6 ワッシャー	8	
12	K1000000258	3.5 圧縮バネ 1733	1	
13	LM41---0111Z2	テンション引キレバー	1	
14	K0320050251	5 スプリングピン 25	1	
15	K0144100002	10U ナット	2	
16	K5000100002	10 ワッシャー	4	
17	LM40A--0128A2	刈高調節締付ネジ	2	
18	K0140080002	8 ちょうナット	2	
19	LM40A--0187Z2	刈高調節ロックネジ	2	
20	LM40A--0127A2	刈高調節ネジ	2	
21	LM40A--0126B2	ローラーブラケット右	1	
22	K0000060102	6 ボルト 10	2	
23	LM40A--0133Z0	ローラー Ass'y	1	
24	LM40A--0125B2	ローラーブラケット左	1	
25	LM40A--0160BL	ホイールカバー	2	
26	K1080000028	2 止メ輪 18	2	
27	LM40A--0152B2	左車軸	1	
28	K2121000040	タイヤ 45 × 240	2	
29	K5011022352	1SPCC 座金 2235	4	
30	LM40A--0158AL	ホイールギヤ 82 丁	2	
31	LM41---0116Z0	10 丁コースターギヤ左	1	
32	K0000060452	6 ボルト 45	5	
33	LM41---0103BR	ベルトカバー	1	
34	K2322030000	V ベルト 0LA30	1	
35	K6212002872	22.1STKM カラー 3023.5	1	

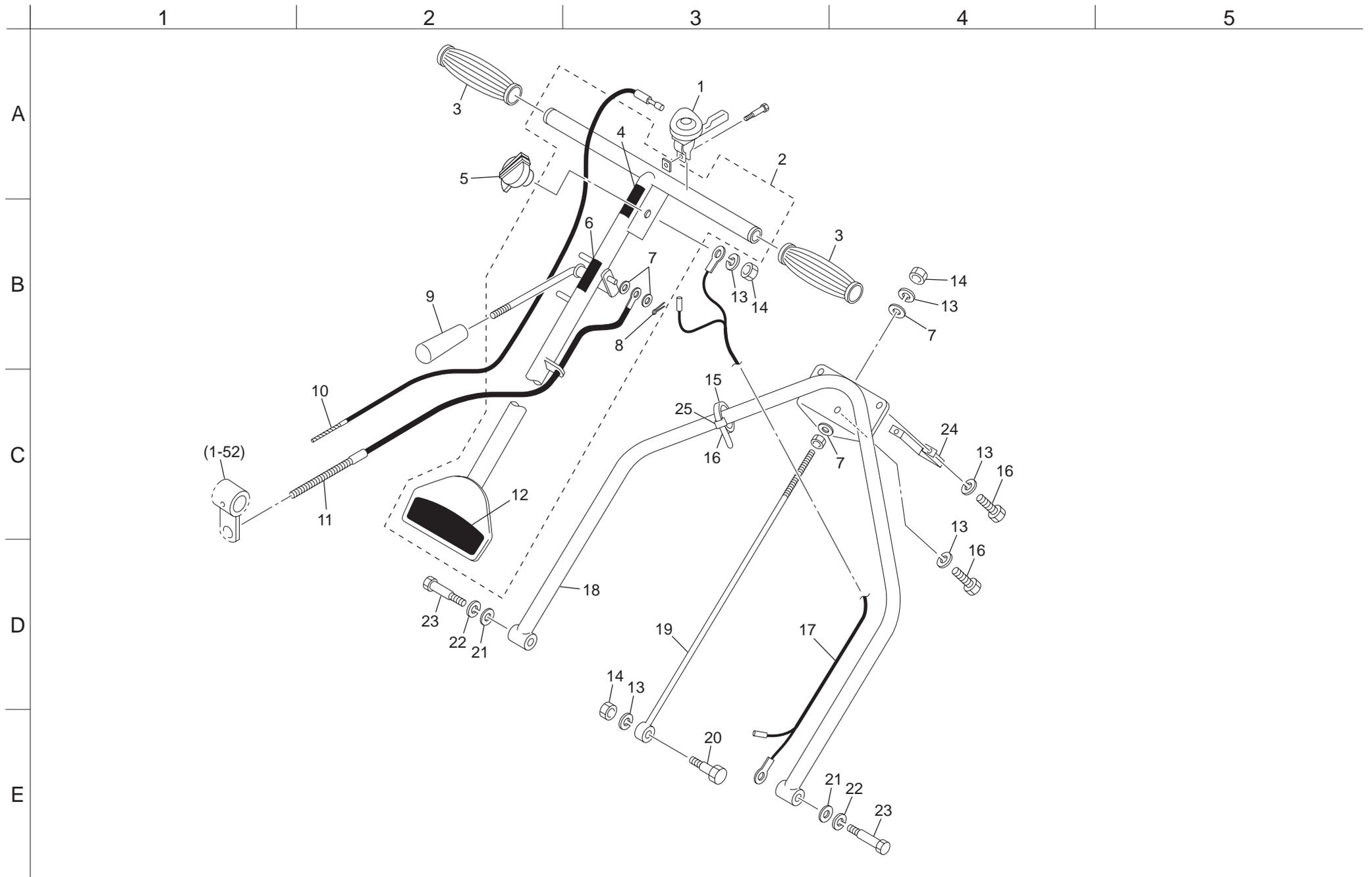
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
36	K5012013322	2SPCC 座金 12.832	2	
37	LM40A--0120B2	カッター調節ボルト	2	
38	K6206000052	スプリング受け	4	
39	K1000000338	4.5 圧縮バネ 2552	2	
40	K5051015350	1C5191P 座金 1535	2	
41	LM40A--0115Z2	リールプーリー	1	
42	K0023080101	8 ホーローセット 10	2	
43	K0041060202	6 + さら小ねじ 20	3	
44	LM40A--0112A0	左ベアリング押へ	1	
45	K0612062020	ベアリング 6202 2RD	2	
46	K0821730080	オイルシール MHSA17308	1	
47	LM41---0101BR	左フレーム	1	
48	K0044040102	4 + 丸小ねじ 10SW	4	
49	LM40A--0129Z0	刈高プレート左	1	
50	LM40B--0142Z2	テンションレバー	1	
51	K0402040001	ストップリング R40	1	
52	K0612062030	ベアリング 62032RD	1	
53	K2471180462	テンションプーリー 1846	1	
54	K0401017001	ストップリング S17	1	
55	LM41---0108A2	エンジンプーリー	1	
56	K0023080200	8 ステンレスホーローセット 20	2	
57	K0041080202	8 + さら小ねじ 20	4	
58	LM40A--0122Z0	カッター調節金	2	
59	K1310000060	段付キャップ 12.7	2	
60	K0000080152	8 ボルト 15	4	
61	LM41---0112Z0	エンジンベースマーク付	1	
62	K4205000330	リールモア危険マーク	1	
63	K0100060002	6 ナット	2	
64	LM41---0105ZR	ベースステータ右	1	
65	LM41---0104ZR	ベースステータ左	1	
66	LM41---0113Z0	リールカバーマーク付	1	
67	K4205000630	取扱上の注意	1	
68	LM41A--0101ZR	芝抑え板	1	
69	K0042060152	6 + 丸小ねじ 15	2	
70	LM40A--0130Z0	刈高プレート右	1	

1. モア部



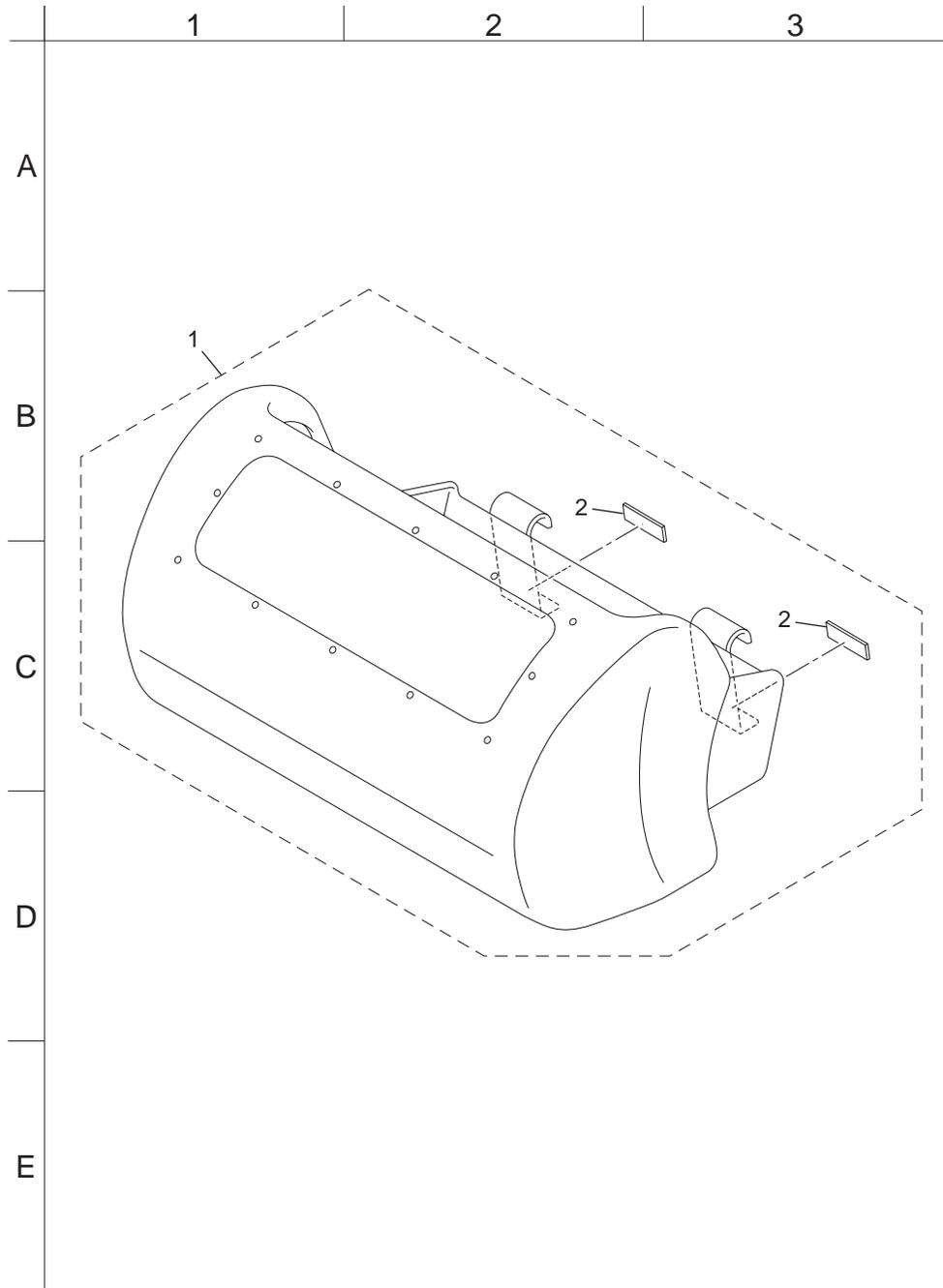


2. ハンドル部

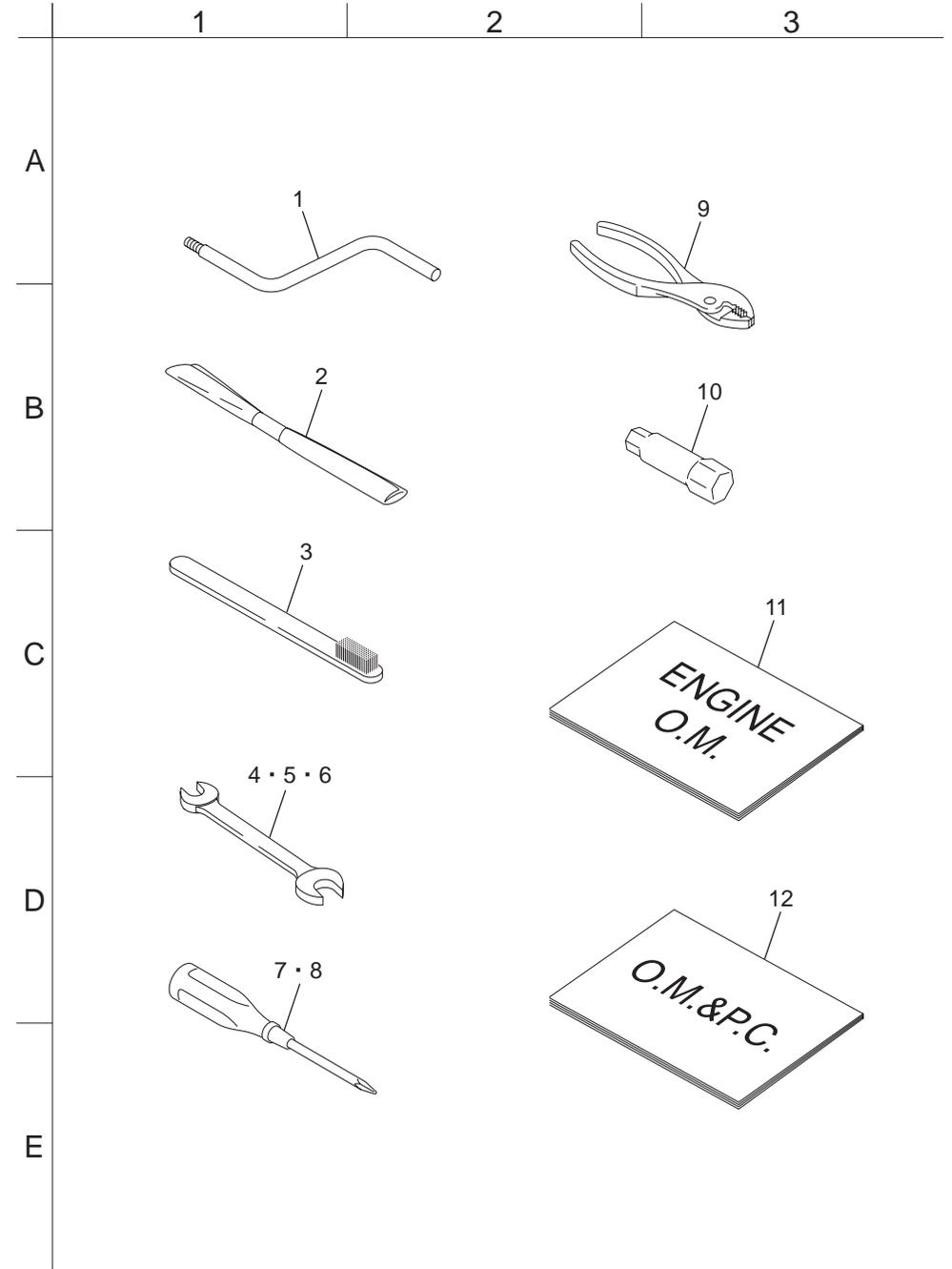




### 3. グラスキャッチャー部



### 4. 付属品部



カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
3-1	LM41A--0301Z0	グラスキャッチャー COMP	1	
3-2	K4033000610	2板ゴム 1550	2	

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考
4-1	K6176000082	ラッピングハンドル	1	
4-2	K4804000010	# 200 ラッピングパウダー 20g	1	
4-3	K4803000010	ブラシ小	1	
4-4	K4810100122	スパナ 10 × 12	2	
4-5	K4810100132	スパナ 10 × 13	1	
4-6	K4810130172	スパナ 13 × 17	1	
4-7	K4820000010	⊕ ドライバー	1	
4-8	KN13002AA	⊕⊖ ドライバー	1	
4-9	K4830000032	プライヤー 135mm	1	
4-10	KN12007AA	ボックススパナ	1	
4-11	KN52053AA	エンジン取扱説明書	1	
4-12	750101-103	LM41A 取扱説明書 & パーツカタログ	1	

**BARONESS**<sup>®</sup>  
Quality on Demand



株式会社 共栄社

〒442-8530  
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL (0533) 84 - 1221  
FAX (0533) 84 - 1220